

まなびだより

梅若小学校 校長 安藤芳典

巡回拠点「うめわか」

直通 03(3614)0788

第3号

令和7年6月16日

紫陽花の花が、色とりどりに咲き誇り、雨音が心地よく響く季節となりました。

6月は、各学校で多彩な行事が行われています。子供たちは、それぞれ目標をもって行事に参加し、できたことを振り返ることで達成感や自信につながっています。また、6月から水泳指導も始まりました。少しずつ学校生活に慣れ、楽しそうな笑顔や元気いっぱいの声が教室中に溢れています。

梅雨が明けると気温が上がり、本格的な夏がやってきます。熱中症予防のためにも水分補給や休憩の声掛けを行いながら、安心して過ごせるよう環境を整えていきます。

【6月～7月の予定】

6月 まなびの教室授業参観（個別のみ）
（日程はお子さんの通室曜日によって異なります。
連絡ファイルをご確認下さい。）

7月15日（火）巡回指導終了
21日（月）夏季休業始



【まなびの教室授業公開のアンケート入力をお願い】

お忙しい中、まなびの教室の授業公開にお越しいただきありがとうございます。

授業公開に関するアンケートのご回答を宜しくお願いいたします。

感覚統合とは？

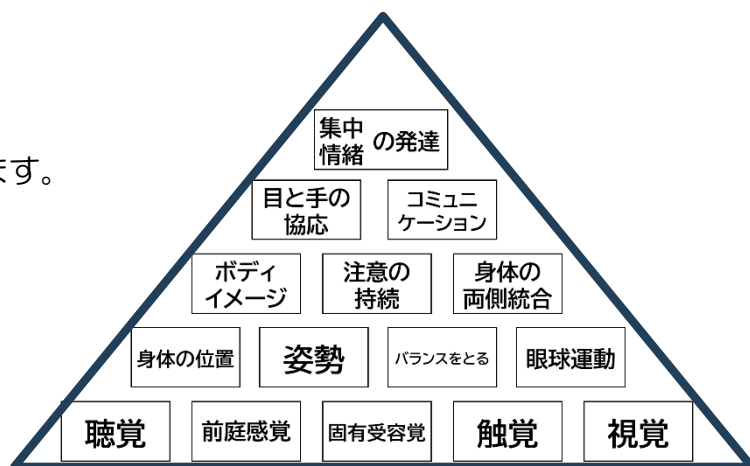
私たちの身体は、目や耳、皮膚、鼻、舌などを使って、いろいろな情報を受け取っています。例えば、友だちの声を聞いたり、好きな音楽を聴いたり、風の匂いを感じたり、アイスクリームを舐めて甘さや冷たさを感じたりします。

しかし、ただ感じるだけではなく、それらの情報をうまくまとめて、体を動かすこと、考えること、行動することが大切です。これを「感覚統合」といいます。

感覚統合に必要な5つの感覚

感覚統合には、次の5つの感覚が関係しています。

- 1 視覚：目で見ること
- 2 聴覚：耳で聞くこと
- 3 触覚：皮膚で感じること
- 4 前庭覚：体のバランスや位置を感じる
- 5 固有受容覚：筋肉や関節の動きを感じる



これらの感覚をうまく使うことで、話を聞くことや姿勢の保持、読み書きなどの課題に取り組むことができます。一方、感覚統合が上手くいっていないと集中が長続きしないことや座ったときに体がもぞもぞと動くこと、足が椅子に上がることなどが起きます。

複数の感覚を使っている場面を感覚ごとに細分化すると以下の通りになります。

例1) 話を聞く場面

- ① 教員を見る【視覚】
- ② 音声情報を聞く【聴覚】
- ③ 椅子に座って姿勢を保持する
（前庭覚・固有受容覚）

例2) 板書を写す場面

- ① 黒板と自分のノートを見る【視覚】
- ② 椅子に座って姿勢を保持する
【前庭覚・固有受容覚】
- ③ 鉛筆を使って書く。【固有受容覚】

学校生活の一部だけでもこれだけの感覚を働かせて様々な情報を脳に入れています。子供たちにとって感覚刺激を取り入れる必要があります。また、感覚刺激を入れるときには、楽しみながら行うことでより効果が高まります。

自宅でもできる 感覚統合の運動遊び

感覚刺激が入る自宅でもできる楽しい運動遊びを紹介します。

1、風船バレー

風船を使ってバレーをする遊びです。風船は軽くてゆっくり落ちるので、目で見て追やすく、手や体をうまく使う練習になります。

2、クッションや椅子を使ったレース

クッションや椅子を使って、おうちの中にサーキットのようなコースを作ります。そのときに這う、ジャンプする、くぐるなどの動きを設定しながら進むことで、体のバランスや位置、筋肉を使う練習になります。

3、飛行機、だるまのポーズ



飛行機のポーズ

- ① うつ伏せで寝ます。
- ② 背中と太ももをあげます。
- ③ そのままの姿勢で止まります。



だるまのポーズ

- ① 体育座りで座ります。
- ② 背中を地面につけて自分のおへそを見ます。
- ③ そのままの姿勢で止まります。

感覚をうまく使うことで、学校での勉強に取り組みやすくなり、友達との遊びがより楽しくなることが期待できます。